

東京国立博物館ファミリーコンサート

FAMILY CONCERT 2016

クラリネットの 響きが彩る午後のひと時

東京クラリネット・クワイアーが
クラリネットだけの珍しい編成で
お届けする名曲の数々

ちいさなお子様大歓迎！
ご自由にお入りいただけます

6/19(日)

1回目 13:00~

2回目 15:00~

※各回40分程度

無料

※当日の入館料は
必要です

場 所

東京国立博物館 平成館ラウンジ

出 演

指揮とお話 稲垣征夫
演 奏 東京クラリネット・クワイアー

曲 目

ポルカ・マズルカ「野ばら」op. 201
(Jos. シュトラウス作曲/稲垣征夫編曲)
ワルツ「酒、女、歌」op. 333
(J. シュトラウスⅡ作曲/稲垣征夫編曲)
他

稲垣征夫



東京生まれ。国立音楽大学器楽科卒業。クラリネットを大橋幸夫、千葉国夫、北爪利世、小笠原長孝の各氏に、指揮法を金子登氏に師事。クラリネットの演奏をはじめ、指揮・講演・評論などの活動を1960年代より始め、現在でも多岐にわたる分野で活躍中。クラリネット奏者としては『音楽のレストラン』と称したミニリサイタルをはじめ、ソロやアンサンブル活動を頻繁に行っている。(東京クラリネット・アンサンブル、クラリネット・カメラデン、管楽座(木管五重奏団)のメンバー)。これまでにウィーンで7枚のCDを制作・リリースしている。指揮者としては、現在、NEC玉川吹奏楽団(川崎市)、長野市民吹奏楽団、東京クラリネット・クワイアーの音楽監督・常任指揮者、海上保安庁音楽隊技術顧問を務める。1991・1994・1997・2002・2008・2011・2015年にクラリネット・クワイアーを、1996・1999・2003・2007年に長野市民吹奏楽団を率いてのウィーン公演が好評を博し、ウィーンコンツェルトハウスから厚い信頼を得ている。近年では、くにたち市民オーケストラなどを始めとする国内オーケストラの指揮も頻繁に行っており、国外でも2001年12月、2003年2月にルーマニア国立オーラデア・フィルハーモニーの定期演奏会に客演指揮者として招かれ好評を博した。2002年4月、アンサンブルの普及活動と指導に貢献したとして日本クラリネット協会賞を受賞。ミュージック・ペンクラブ・ジャパン会員、日本クラリネット協会常任理事、全国職場バンド実行委員会特別顧問。2012年より東京国際大学特命教授 吹奏楽団音楽監督常任指揮者。

東京クラリネット・クワイアー

アマチュアによるクラリネットオーケストラ。稲垣征夫氏の提唱により1986年に結成。団員の経歴・職種は多様で、一般社会人・大学生・音楽大学卒業生など、40名ほどの団員を有する。E♭クラリネットからB♭コントラバスクラリネットまでの様々なクラリネットのみで構成され、ピアノ小品から交響曲まで幅広いレパートリーをもつ。定期演奏会と「TCC PRESENTS」と称したミニコンサートやアンサンブルコンサートを中心に各種イベントに参加。これまで7度のウィーン公演をはじめ、ベルギーや日本各地で演奏会を行っている。また全国のクラリネットアンサンブルと連携しクワイアーの啓蒙活動にも力を注いでいる。

主催 東京国立博物館 / 東京クラリネット・クワイアー

協賛

上野のれん会・東京国立博物館ミュージアムショップ

東京国立博物館

東京都台東区上野公園13-9

お問合せ: 03-3821-9270 (東京国立博物館総務課)

交通のご案内

JR上野駅公園口・鶯谷駅南口より徒歩10分
東京メトロ上野駅・根津駅より徒歩15分
京成電鉄京成上野駅より徒歩15分